

**平成 30 年度 教育委員会点検・評価報告書**  
**【平成 29 年度事業】**

**平成 31 年 1 月**  
**西予市教育委員会**

## 目 次

はじめに	1
I 平成 29 年度（28 年度事業）学識経験者の意見への対応状況	2
II 西予市教育振興基本計画（平成 26 年 3 月策定）について	5
III 西予市教育委員会の点検・評価について	7
IV 点検・評価結果	
IV-1 教育委員会の活動状況	9
1 委員選任状況	9
2 会議開催状況	9
3 委員会議以外の活動状況	11
4 主な活動実績一覧	12
IV-2 施策別の点検・評価結果	15
1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧	15
2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果	16
重点目標 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	
(1) 確かな学力の育成	16
(3) 健やかな体の育成	20
(5) 特別支援教育の充実	23
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	24
(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	25
(10) よりよい教育環境づくりの実現	26
重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進	
(1) 生涯学習の推進	28
(2) 公民館活動の推進	30
(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	36
(4) 人権・同和教育の推進	38
(5) 図書館活動の充実	41
重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興	
(1) 文化財の保護と活用	43
(2) 文化の振興	48
(3) 文化活動の環境と基盤の整備	53
(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	55
重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(1) スポーツの普及・推進	56
V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性	59

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）（以下「法律」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、効果的な教育行政に資するとともに住民への説明責任を果たすため、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。

また、いじめ問題を契機とした教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の低さなどの課題も指摘されたことから、国においては教育委員会の存続を含めた制度の見直しの議論がなされました。そして、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るための教育委員会制度改革が法律の一部改正により、平成 27 年 4 月から施行されました。

一方、平成 18 年に改正された教育基本法では、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間、公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、わが国の伝統文化を基礎として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされており、これを踏まえた教育施策の展開も求められております。これを受けて、西予市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、学校教育及び社会教育の一層の充実を図るため、市総合計画と整合性を図りながら、今後目指すべき教育の基本的方向性や重点的に取り組むべき教育施策を明らかにした「西予市教育振興基本計画」を平成 26 年 3 月に策定しました。その後、教育委員会では、この基本計画の一部改訂を平成 28 年 3 月に行っております。

今後のさらなる効果的な教育行政の推進に資するために、学識経験者のご意見等をいただきながら、教育委員会が点検・評価した結果を報告書としてまとめましたので、ご覧いただきご意見、ご要望をお寄せいただくことで、よりよい教育の実現をめざして、取り組みを進めてまいります。

平成 31 年 2 月

西予市教育委員会

## I 学識経験者の意見への対応状況

平成 28 年度事業の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価における学識経験者からいただいた意見等について、平成 29 年度の西予市教育委員会の対応状況は以下のとおりです。

評価・意見（平成 28 年度事業）	対応状況 （平成 29 年度の取組）
<b>1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進</b>	
<b>(1) 確かな学力の育成</b>	<b>評価結果&lt;順調&gt;</b>
<p>①有効な事業だと認識している。派遣人数に限りがあるため選考に漏れた生徒のケアや派遣される生徒の事前研修の充実及び帰国後における研修成果の発表の場の確保等に配慮し、より良い事業となるよう努められたい。（生徒国際交流事業）</p> <p>②ICTの更なる活用を目指し、機器の更新計画を立て充実をはかっていただきたい。（小学校情報教育振興事業・中学校情報教育振興事業）</p>	<p>①この派遣の目的は語学研修であると認識させるため、平成 29 年度は 13 名の生徒に絞って派遣した。目的を認識している生徒が増加していると判断出来れば派遣人数を増やすことも検討。派遣前研修としては、ALT による英語研修を実施しホストファミリーと 1 対 1 で会話するなどのホームステイに対応できる英語力をつけさせている。派遣生徒の海外研修報告は各中学校の文化祭で行っており、今後も研修の成果が広く波及するよう続けていきたい。</p> <p>【担当：教育総務課】</p> <p>②新学習指導要領にも謳われているとおり、今後 ICT 機器の活用の充実が不可欠となってくる。予算を考慮しつつ機器の整備を計画的に実施し、教員の研修等を行いながら ICT 活用の充実に努めた。</p> <p>【担当：学校教育課】</p>
<b>(3) 健やかな体の育成</b>	<b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b>
<p>③地産地消による食育の推進には好感が持てるが、給食をセンター化した場合は、一定数量の食材の確保の面から考えた場合に地産地消が難しくなることが懸念されるので検討をお願いしたい。（学校給食庶務事業・宇和学校給食センター建設事業）</p>	<p>③児童生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行うことができた。新学校給食センターの食材の確保における流通面については、関係機関との連携により地産地消に努め、郷土への愛着が持てる食育活動に努めている。</p> <p>【担当：学校教育課】</p>
<b>(5) 特別支援教育の充実</b>	<b>評価結果&lt;順調&gt;</b>
<p>④児童生徒の保護者からの配置希望の増加にあわせ、生活支援員を増員していることは評価できる。今後も適切な支援員の配置に努められたい。（小学校、中学校生活支援員設置事業）</p>	<p>④生活支援員の配置については、配置希望を就学指導委員会において協議検討し決定している。財政面も考慮し学校現場や保護者のニーズに対応している。</p> <p>【担当：教育総務課】</p>

<p><b>(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化</b></p> <p>⑤所属部会総会の同日開催について小規模校への配慮をお願いしたい。(市教育研究大会実施事業)</p>	<p><b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b></p> <p>⑤所属部会総会の同日開催についての小規模校のデメリットは承知しているが、複数日開催とすることは学校行事等による日程調整や授業時数の確保を考えると難しいのが現状である。</p> <p>【担当：学校教育課】</p>
<p><b>(10) よりよい教育環境づくりの実現</b></p> <p>⑥小学校の再編について推進され複式学級の解消が図られており、その後も慎重に協議されていることは評価できる。今後も児童数の推移を長期的に判断し、費用面を考慮しながら慎重に協議検討していただきたい。(学校再編推進事業)</p> <p>⑦耐震化率について100%を達成し安心できる。非構造物の耐震についても今後十分進めていただきたい。(小学校施設整備事業)</p>	<p><b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b></p> <p>⑥小学校再編の宇和地区における3校に再編する現計画は見直すこととし、見直しの時期は、複式学級の発生等今後の児童数の推移、校舎の老朽化の状況、統合間もない皆田・明間地域の地域事情等を勘案して教育委員会において検討していくこととした。なお、見直しに当たっては、別途、検討委員会を設置することとした。</p> <p>【担当：教育総務課】</p> <p>⑦非構造物の耐震について特別な安全対策を講じる計画はないが、教職員による点検を実施しており、今後も継続していく。施設の大規模改修に併せ非構造物の耐震を実施する等、安全な教育環境の整備を図っていききたい。</p> <p>【担当：教育総務課】</p>
<p><b>2 ライフステージに応じた社会教育の推進</b></p>	
<p><b>(2) 公民館活動の推進</b></p> <p>①イベント関係が多く、学級や講座が少ない。公民館にとって学級活動は重要であるが、少子高齢化等、社会の変化に伴い学級開催が難しい現状である。しかしながら、出来る範囲で学級を開催し、そこで学習したことを地域に還元する流れも必要であると考えてるので、ぜひ学級活動を推進していただきたい。(各地区公民館生涯学習事業)</p> <p>②団体の運営経費の一部補助により団体が活性化し、県等から表彰を受けていることは評価できる。今後も団体育成に努めてほしい。(社会教育団体育成事業)</p>	<p><b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b></p> <p>①国県の補助もなくなり、予算規模も縮小されてきており、十分な学級活動が困難な現状である。今後は地域の課題に即した事業に積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>【担当：生涯学習課】</p> <p>②社会教育団体が中心となり、社会教育の活動支援を行うとともに青少年の健全育成・地域の活性化に繋げている。</p> <p>【担当：生涯学習課】</p>
<p><b>(4) 人権・同和教育の推進</b></p> <p>③人権のつどいの一本化についての改善点かどうか。旧町から引き継がれた独自性も大事であるが、市としての方向性も明確化していくよう取り組んでいただきたい。(人権のつどい事業)</p>	<p><b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b></p> <p>③5分会がそれぞれ特色ある活動を継続しているが、市としての一体感に欠ける面もある。他市を参考に研究大会を開催して分科会で活発に論議する等の手法も検討中である。</p> <p>【担当：生涯学習課】</p>

### 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(1) 文化財の保護と活用	評価結果<順調>
<p>①茶堂は市の貴重な文化財であり茅葺の形で残していく必要があるが、県内に茅葺職人が少ないため、県外の職人に葺き替えを依頼しているとのことだが、その後の状況はどうか。(文化財保護推進事業)</p> <p>②出土品は増えているが展示する場所がない。今後展示場所について研究してすすめていただきたい。(埋蔵文化財発掘調査事業)</p>	<p>①茅葺職人は県内にはおらず、栲原町の川上氏に頼っているのが現状である。市としては、来年度予定している全国社寺屋根等工事技術保存会の茅葺師養成講座を利用し、体験・ワークショップを行い普及・啓発に努めたい。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p> <p>②展示(ガイダンス施設)場所については、公共施設の空きスペースを利用して展示する等、検討している。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>
(3) 文化活動の環境と基盤の整備	評価結果<概ね順調>
<p>③トイレの洋式化等の環境整備について評価できる。引き続き老朽化した公共施設についても整備をお願いしたい。(宇和文化会館管理運営事業)</p>	<p>③施設の環境整備については、予算も考慮しながら緊急性の高いものから順次進めている。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(2) えひめ国体の推進	評価結果<概ね順調>
<p>①国体開催に併せ施設を整備されたことは評価できる。今後もこれらの施設の有効利用及び活用を推進していただきたい。(愛媛国体施設整備事業)</p>	<p>①整備された施設において、市内だけでなく市外及び県外から様々な大会を誘致できるよう関係団体と連絡調整しながらすすめている。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>

## II 西予市教育振興基本計画（平成26年3月策定）について

### 1 基本理念

#### 『ふるさとの未来へつなぐ人づくり』

本市の特性を生かし、西予市を誇りに感じ、「ふるさとの未来」を思い、次代を担う「人づくり」を推進します。

### 2 基本目標

#### 「夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ」

「生きる力」の育成を基盤とした学校教育を推進するとともに、学校や家庭、地域が連携・協力し、市の特性を生かした特色ある学校づくりを進めます。また、ふるさとを愛する心を育て、夢多き未来につながる教育に努めます。

#### 「ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと」

市民が生涯現役として、ふるさと西予の歴史・文化やスポーツに親しみ、積極的にまちづくりへ参画できるように、生涯学習の場を充実させて活躍できる場の提供に努めます。

### 3 重点目標

#### 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

学校・家庭・地域の連携・協力により、幼児・児童・生徒に、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けさせ、社会の一員としてたくましく生きていく力を育成します。

#### ライフステージに応じた社会教育の推進

少子化・高齢化・核家族化が一般化している現代において、家庭・地域・行政が役割を明確にし、市民一人ひとりが自発的に学習し学んだ成果を社会に還元できる社会（地域）づくりの向上を目指します。

#### 人生を豊かにする文化芸術の振興

市民共有の貴重な財産である歴史、文化、文化財などについて、調査・研究のうえ保護、活用し、市民が文化財に親しむ機会を創出します。また、市民の芸術文化活動を支援し、鑑賞の機会を提供します。

#### 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

子どもから高齢者まで、年齢、性別、健常者・障がい者の区別なく、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような生涯スポーツ社会の実現を目指します。

#### 4 施策の体系

##### ○基本目標：夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ

重点目標	施策	事務事業等
1 「生きる力」を育む 学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	①推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実 ②学校と家庭、地域との連携 ③ICTの活用と情報教育の推進
	(2) 豊かな心の育成	①道徳の時間の充実 ②互いの関わりを大切にした集団活動の充実 ③いじめ根絶に向けた取組の充実 ④情報モラル教育の充実 ⑤家庭や地域と連携した活動の充実
	(3) 健やかな体の育成	①体力の維持・向上 ②基本的な生活習慣の定着 ③地産地消による食育の推進
	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	①特色ある学校づくりの推進
	(5) 特別支援教育の充実	①個に応じた支援の充実 ②生活支援員の配置
	(6) 人権・同和教育の推進	①人権・同和教育の充実 ②いじめや不登校への対応
	(7) 安全・安心な学校づくりの推進	①防災教育の推進 ②学校や地域の安全確保の推進
	(8) 教職員の資質・能力の向上と 学校組織の活性化	①市所属部会、市教育研究大会の充実 ②研修活動の充実 ③学校組織の活性化
	(9) 幼稚園教育の充実	①充実した幼児教育の提供 ②子育て支援の充実
	(10) よりよい教育環境づくりの 実現	①公立学校の再編推進 ②放課後の子育て支援 ③校舎の改築及びICT設備の整備等 ④小中一貫教育の検討

##### ○基本目標：ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと

重点目標	施策	事務事業等
2 ライフステージに応じた 社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	①生涯を通じた多様な学習機会の提供
	(2) 公民館活動の推進	①地域と連携した公民館活動の充実 ②社会教育関係団体の育成と連携 ③西予市結婚推進委員会の取組
	(3) 心豊かでたくましい青少年の 育成	①青少年健全育成体制の強化 ②家庭、地域の教育力の向上 ③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進
	(4) 人権・同和教育の推進	①学習機会の拡充と啓発活動の充実 ②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 ③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実
	(5) 図書館活動の推進	①読書活動の普及啓発 ②図書館サービスの充実
3 人生を豊かにする文化 芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	①文化財・文化遺産の保護と活用 ②文化財の継承と次世代を担う人材の育成
	(2) 文化の振興	①文化の継承、次世代を担う人材の育成 ②文化芸術、生活文化の振興
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	①文化施設の整備・充実
	(4) 西予市の特色を生かした文化 施策の推進	①古代ロマンの里構想の推進 ②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存 計画の推進 ③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 ④文化的景観保護推進事業の推進
4 健やかな心と体をつく る生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	①生涯スポーツの普及と活動支援 ②スポーツ施設の整備・充実
	(2) えひめ国体の推進	①競技スポーツの振興と人材育成 ②関係施設の整備・充実



### Ⅲ 西予市教育委員会の点検・評価について

#### 1 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

#### 2 点検・評価の対象、実施期間

##### (1) 点検・評価の対象

- ・平成 29 年度における教育委員会の活動状況
- ・平成 29 年度における教育委員会の取組施策

##### (2) 点検・評価の実施期間

平成 30 年 10 月～平成 31 年 2 月

#### 3 点検・評価の方法

##### (1) 自己点検・評価

教育委員会主管課が西予市教育振興基本計画に基づく取組を自己点検・評価します。

##### (2) 学識経験者の意見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価結果について、選任する学識経験者 3 名から評価会議で意見を伺います。

氏名	団体・役職名
大野 哲寛	元小学校長
増田 敬介	元市役所職員
大塚 晶司	元社会教育委員長

#### 4 自己点検・評価の構成

##### (1) 施策の評価（A表）

「施策の体系」の表に示した 21 の施策毎に施策を構成する事務事業等の実績及び成果等を分析し、取組の成果（進行状況）を次の表 1 の区分により総合的に評価します。

(表1)

順調	施策の成果が十分にあり、進行状況が順調であると判断されるもの
概ね順調	施策の成果がある程度あり、進行状況が概ね順調であると判断されるもの
やや遅れている	施策の成果があまりなく、進行状況がやや遅れていると判断されるもの
遅れている	施策に成果がなく、進行状況が遅れていると判断されるもの

※担当課が2課以上ある場合の評価

評価及び評価に対する分析について協議し、評価を一本化しています。

(2) 主な取組事業の点検・評価 (B表)

施策を構成している主な取組事業の内容、実績、評価と今後の課題・対応方向等について分析しています。

(記入項目)

事務事業等	課題解決に設定した具体的な方策。※別紙施策の体系を参照
成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組の推進が効果的となるよう設定した指標
取組事業	取組を推進するための事業名
事業内容	取組む事業の内容
実績	実施した事業の実績等
評価と今後の課題・対応方向	実施した事業の評価と今後の事業を進める上での課題と、その改善点や対応の方向
決算額 (千円)	平成29年度の決算額 (事業の総額) ※千円単位に四捨五入

(3) 成果指標の評価・分析 (C表)

成果指標の評価は、21の施策の中で設定した14の成果指標の達成状況を下記表2の区分により評価し分析しています。

(表2)

A: 達成に向けて予定どおり進行している
B: 達成に向けて概ね予定どおり進行している
C: 達成に向けて予定よりやや遅れている
D: 達成に向けて予定より遅れている

(記入項目)

成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組が効果的となるよう設定した指標名
達成状況	表2の中から、成果指標の達成状況の評価項目を選択
分析・評価	平成29年度の成果指標値について、基準値との比較や社会情勢等を考慮した分析・評価
基準値	西予市教育振興基本計画において、基準とした平成24年度の値
目標値	西予市教育振興基本計画において、目標とする平成30年度の値
実績値	西予市教育振興基本計画における平成28年度時点の値
増減	設定した指標の実績値と基準値の差

#### IV 点検・評価結果

##### IV-1 教育委員会の活動状況

###### 1 教育長及び委員任命状況

(平成29年6月10日現在)

職	氏名	性別	職業	任期	通算在任年数	役職任期	常勤・非常勤の別
教育長	保木 俊司	男	公務員	H28.6.10 H31.6.9	1		常勤
職務代理者 教育長	上甲 和博	男	無職	H26.6.10 H30.6.9	3	H29.6.10 ～ H30.6.9	非常勤
委員	山本 恵子	女	無職	H27.6.10 H31.6.9	2		非常勤
委員	樋口 美和	女	会社員	H28.6.10 H32.6.9	1		非常勤
委員	平岡 長治	男	無職	H29.6.10 H33.6.9	4		非常勤

※教育長の任期は3年間

※教育委員の任期は4年間

※教育長職務代理者の任期は1年

###### 2 会議開催状況

###### ①会議開催数・付議案件数

定例会	12回
臨時会	1回
案件	58件

②会議に付された案件（定例会・臨時会）

月日	案件名
4月26日 定例会	西予市教職員宿舎条例の一部を改正する条例制定について
	西予市三瓶文化会館運営委員会委員の委嘱について
	西予市明浜歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱及び任命について
	西予市公民館長の任命について
	西予市公民館分館長の任命について
	西予市公民館分館主事の任命について
	西予市公民館運営審議会委員の任命及び委嘱について
	西予市立学校給食支部運営委員会委員の委嘱及び任命について
	平成29年度西予市要保護及び準要保護児童生徒の認定について
5月23日 定例会	西予市社会教育委員の委嘱について
	西予市公民館運営審議会委員の任命及び委嘱について
	西予市図書館協議会委員の任命について
	西予市教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について
	西予市教科用図書選定委員会調査員の任命について
6月20日 定例会	西予市社会教育委員の委嘱について
	西予市公民館運営審議会委員の委嘱について
7月25日 定例会	西予市教職員宿舎条例の一部を改正する条例制定について
	西予市社会体育施設条例の一部を改正する条例制定について
	西予市宇和文化の里条例の一部を改正する条例制定について
	西予市検定受検料補助金交付要綱の一部を改正する告示制定について
8月21日 定例会	平成平成30年度使用小学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択について
12月26日 定例会	西予市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する告示制定について
	西予市要保護及び準要保護児童生徒認定基準の一部を改正する訓令制定について
	西予市いじめ防止等のための基本的な方針の改定について
	西予市青少年補導員の委嘱について
1月23日 定例会	西予市立学校給食センター及び学校給食調理場条例の一部を改正する条例制定について
	西予市営プール条例の一部を改正する条例制定について
	西予市立幼稚園における保育料等徴収条例の一部を改正する条例制定について
	西予市立幼稚園における保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則制定について
2月23日 定例会	西予市公立学校管理規則の一部を改正する規則制定について
3月8日 臨時会	西予市教育委員会事務委任規則の一部を改正する規則制定について
	西予市教育委員会教育長専決規則の一部を改正する規則制定について

3月27日 定例会	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
	西予市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則制定について
	西予市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則制定について
	西予市宇和運動公園運営協議会規則の一部を改正する規則制定について
	西予市営プール条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市教育委員会職務権限規程の一部を改正する訓令制定について
	西予市学校事務の共同実施組織に関する規程の一部を改正する訓令制定について
	西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存対策費補助金交付要綱の一部を改正する告示制定について
	西予市社会教育委員の委嘱について
	西予市公民館長の任命について
	西予市公民館分館長の任命について
	西予市公民館分館主事の任命について
	西予市公民館運営審議会委員の任命及び委嘱について
	西予市図書館協議会委員の任命について
西予市文化財保護審議会委員の委嘱について	

### ③教育委員会議の公開

西予市教育委員会傍聴規則の規定に基づき、会議は教育委員長の許可を得て傍聴できます。

・平成29年度 傍聴人 4人

### 3 委員会議以外の活動状況

教育長及び教育委員は、教育委員会議への出席以外に、市議会、学校訪問、小学校再編計画地域説明会など各種行事等へ出席しました。（詳細は、4 主な活動実績一覧を参照）

- ① 議会関係・・・定例会（4回）、臨時会（2回）
- ② 学校訪問・・・小学校（12校）、中学校（5校）
- ③ 各種行事・大会・・・105回
- ④ その他の行事・・・48回

4 主な活動実績一覧

月	教育委員会関係	市議会関係	各種行事・大会	学校訪問	その他
4	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市新任式</li> <li>・市内小学校入学式 (12校)</li> <li>・市内中学校入学式 (5校)</li> <li>・市内県立学校入学式</li> <li>・市連合婦人会総会</li> <li>・市所属部会総会</li> <li>・県視聴覚教育協会理事会</li> <li>・南予教育事務所管内校長研修会</li> <li>・市公民館連絡協議会総会</li> <li>・市青少年補導委員会総会</li> <li>・せいよ西学校給食センター試食会</li> </ul>		
5	定例会 (1)	臨時会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市育英会理事会</li> <li>・朝霧湖マラソン大会</li> <li>・管内市町教育委員会連合会総会</li> <li>・四国都市教育長連絡協議会総会</li> <li>・市PTA連合会総会</li> <li>・市青少年育成協議会定例委員会</li> <li>・県視聴覚教育協会総会</li> <li>・市内小学校運動会</li> <li>・県公立小中学校寄宿舎運営連絡協議会</li> <li>・県へき地教育振興会総会</li> <li>・県人権教育協議会西予支部総会</li> <li>・市特別支援教育連絡協議会</li> <li>・市スポーツ推進委員協議会総会</li> <li>・県市町教育長会議</li> <li>・えひめ教育の日推進協議会</li> </ul>	野村小 野村中 惣川小 大野ヶ原小	
6	定例会 (1)	定例会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市中学校総合体育大会</li> <li>・市中学校陸上、水泳大会</li> <li>・市教育支援委員会</li> <li>・市人権のつどい (宇和会場)</li> <li>・市連合青年団代議員総会</li> <li>・市愛護班連絡協議会総会</li> </ul>	多田小 中川小 石城小 宇和町小 田之筋小 皆田小 宇和中 明浜小 明浜中 城川小 城川中	・伊予銀行ソフトボール教室

7	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市社会教育委員会</li> <li>・へき地・地域教育研修会</li> <li>・県市町教育委員会連合会定期総会</li> <li>・各支部小学校水泳記録会</li> <li>・市行政連絡員協議会代表者会</li> <li>・全国「かまぼこ板の絵」展覧会表彰式</li> <li>・市人権のつどい（野村会場）</li> <li>・四国地区人権教育研究大会</li> <li>・旧開智・開明学校姉妹館交流青少年派遣事業</li> </ul>	三瓶小 三瓶中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会を明るくする運動」西予地区出発式</li> <li>・えひめ国体炬火採火式</li> </ul>
8	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒国際交流事業（ニュージーランド）結団式、解団式</li> <li>・児童平和学習おイネさん交流事業</li> <li>・市校長会研修会</li> <li>・学校再編計画地域住民説明会</li> <li>・市歴史文化講演会</li> </ul>		・トップと語る会
9	定例会 (1)	定例会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中学校運動会</li> <li>・市内小学校運動会</li> <li>・市公民館職員研修会</li> <li>・市内中学校新人体育大会</li> <li>・えひめ国体出場選手壮行会</li> <li>・えひめ国体総合開会式</li> </ul>		
10	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回市総合教育会議</li> <li>・えひめ国体（ソフトボール、相撲）</li> <li>・えひめ国体総合閉会式</li> <li>・城川オリンピック</li> <li>・市内小学校陸上記録会</li> <li>・県視聴覚教育研究大会</li> <li>・市教育研究大会</li> <li>・県公民館研究大会</li> <li>・南予地区人権・同和教育研究協議会</li> <li>・小学生夢チャレンジサポート事業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流のタベ</li> <li>・せいよこどもグッズまつり 2017</li> </ul>
11	定例会 (1)	臨時会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮中雲子音楽祭</li> <li>・県小中学校長研究大会</li> <li>・県文楽合同公演大会</li> <li>・乙亥大相撲</li> <li>・市福祉大会</li> <li>・市PTA大会</li> <li>・各町文化祭・芸能祭</li> <li>・県人権、同和教育研究大会</li> <li>・市内小中学校音楽発表会</li> <li>・えひめ教育の日推進大会</li> </ul>		・西予市戦没者追悼式

12	定例会 (1)	定例会 (1)	・宇和文化の里中高齢者・女子駅伝競走大会 ・市駅伝競走大会 ・市教育支援委員会 ・全国人権・同和教育研究大会		・市仕事納め式
1	定例会 (1)	臨時会 (1)	・市成人式 ・管内市町教育長会議 ・南予管内教育委員研修会 ・各町駅伝競走大会 ・学び舎開校式(明浜) ・せいよ婦人大会		・市仕事始め式
2	定例会 (1)		・市青少年育成協議会 ・各町駅伝競走大会 ・管内市町社会教育課長等会 ・学校体育会理事会 ・県寄宿舍運営協議会		・市消防出初め式
3	臨時会 (1) 定例会 (1)	定例会 (1)	・市内県立学校卒業式 ・市内中学校卒業式 ・市内小学校卒業式 ・市内幼稚園卒園式 ・市社会教育委員会 ・文化保護審議会		・退任式
合計	臨時会 (1) 定例会 (12)	臨時会 (2) 定例会 (4)	105回	小学校 (12) 中学校 (5)	48回



IV-2 施策別の点検・評価結果

1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧

重点目標	施策	評価	事務事業等	成果指標	達成状況	
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	順調	①推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実			
			②学校と家庭、地域との連携			
			③ICTの活用と情報教育の推進	・ITを活用した授業の割合	A	
	(2) 豊かな心の育成	概ね順調	①道徳の時間の充実			
			②互いの関わりを大切にした集団活動の充実			
			③いじめ根絶に向けた取組の充実			
			④情報モラル教育の充実			
			⑤家庭や地域と連携した活動の充実			
	(3) 健やかな体の育成	概ね順調	①体力の維持・向上			
			②基本的生活習慣の定着			
(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	概ね順調	③地産地消による食育の推進				
		①特色ある学校づくりの推進				
(5) 特別支援教育の充実	順調	②基本的な生活習慣の定着				
		③地産地消による食育の推進				
(6) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①個に応じた支援の充実				
		②生活支援員の配置				
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	順調	①人権・同和教育の充実				
		②いじめや不登校への対応				
(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	概ね順調	①防災教育の推進				
		②学校や地域の安全確保の推進				
		③市所属部会、市教育研究大会の充実				
(9) 幼稚園教育の充実	概ね順調	④研修活動の充実				
		⑤学校組織の活性化				
		①充実した幼児教育の提供				
(10) よりよい教育環境づくりの実現	概ね順調	②子育て支援の充実				
		①公立学校の再編推進				
		②放課後の子育て支援				
		③校舎の改築及びICT設備の整備等	・耐震化率	A		
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	概ね順調	④小中一貫教育の検討			
			①生涯を通じた多様な学習機会の提供			
	(2) 公民館活動の推進	概ね順調	①地域と連携した公民館活動の充実	・公民館運営審議会開催回数	B	
			②社会教育関係団体の育成と連携			
			③西予市結婚推進委員会の取組			
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	概ね順調	①青少年健全育成体制の強化	・街頭補導回数 ・移動補導センター回数	A A	
②家庭、地域の教育力の向上						
③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進						
(4) 人権・同和教育の推進	概ね順調	④学習機会の拡充と啓発活動の充実		B		
		①学習機会の拡充と啓発活動の充実				
		②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成	・地区別人権・同和教育懇談会開催回数	B		
(5) 図書館活動の推進	概ね順調	③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実				
		①読書活動の普及啓発	・利用者数（図書を借りた人数）	B		
(2) 公民館活動の推進	概ね順調	②図書館サービスの充実	・利用者数（図書を借りた人数）	B		
		3 人生を豊かにする文化芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	順調	①文化財・文化遺産の保護と活用	・文化財を見に行ったことのある人の割合
②文化財の継承と次世代を担う人材の育成	・文化財を見に行ったことのある人の割合				A	
(2) 文化の振興	概ね順調		①文化の継承、次世代を担う人材の育成			
			②文化芸術、生活文化の振興	・芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合	B	
(3) 文化活動の環境と基盤の整備	概ね順調	①文化施設の整備・充実	・施設や展示物の満足度	A		
		(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	概ね順調	①古代ロマンの里構想の推進	・古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合	B
②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進						
③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進						
④文化的景観保護推進事業の推進						
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	概ね順調	①生涯スポーツの普及と活動支援	・市民の週1回以上のスポーツ人口率	A	
			②スポーツ施設の整備・充実			
(2) えひめ国体の推進	概ね順調	①競技スポーツの振興と人材育成				
		②関係施設の整備・充実				

重点目標 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

(A表)

施策	(1) 確かな学力の育成
評価	順調
評価に 対する 分析	<p>学力向上推進計画に基づき、学校教育の質の保証・向上に取り組 み、全国学力学習状況調査で小中ともに全国平均を概ね上回ることが できた。</p> <p>国際化に対応できる人材育成の観点からALTの英語授業や国際交 流事業を通じ、英語力の強化を行うことができた。</p> <p>平成29年度から実施した新事業では自ら学び考える力を身に付ける ことができた。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

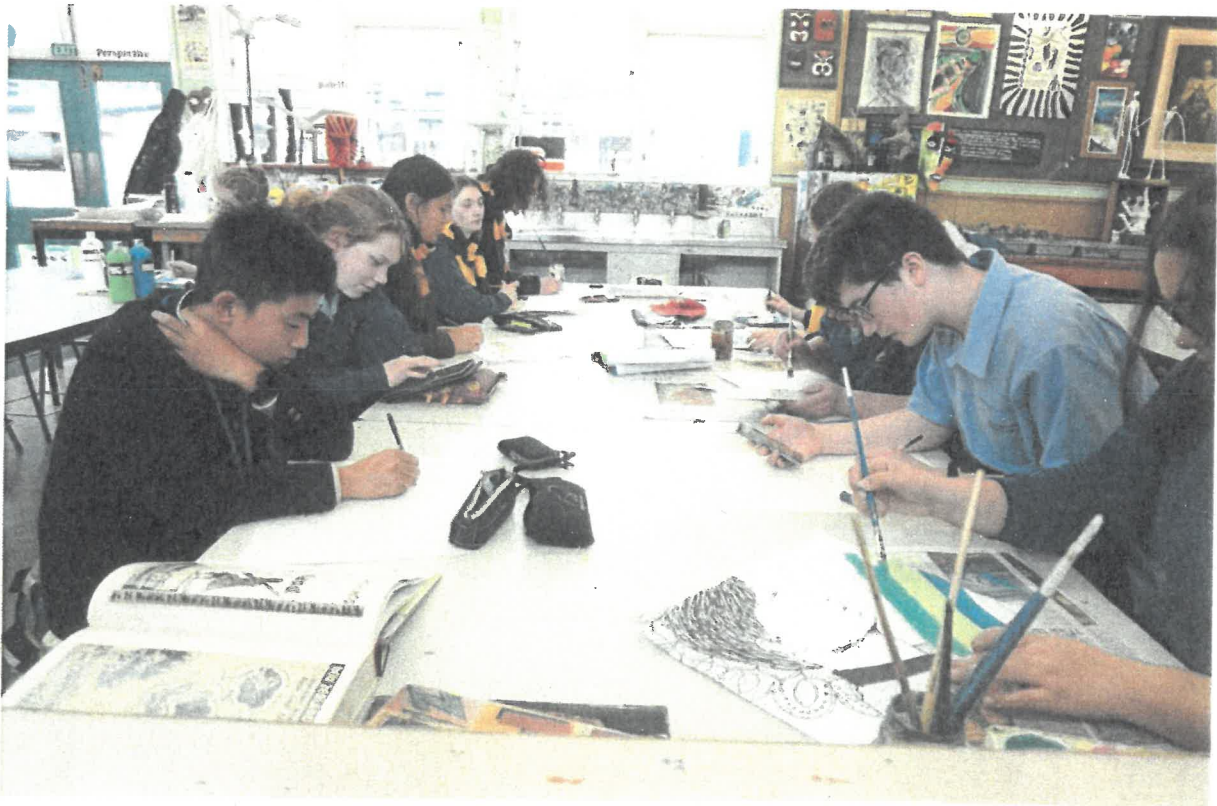
(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	8,157
取組事業	生徒国際交流事業		
事業内容 実績 課題・今後 の方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>国際化時代にふさわしい人材を育成するため、生徒をニュージーラ ンドへ派遣する。派遣までに事前説明会・事前研修を実施して、ホー ムステイの予備知識、研修目的などの徹底を図る。派遣先ではホーム ステイをしながら、語学学校への短期入学や現地学校に2日間訪問 し、体験授業などを行う。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>8/7～8/18(12日間)市内の中学3年生13人を選考し(作文・面 接等で意欲を確認)ニュージーランドへ派遣した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>生徒は参加したことで自己表現力や協調性、英語理解力の面で向上 が見られた。国際感覚と広い視野を持った次代を担う人材(リー ダー)に育ち、いろいろな場で生かすことができた。西予市代表とし て参加する生徒の目的意識や意欲がなければ、単なる体験となってい まう可能性があるため、学力の向上につながるよう研修の目的を理解 させ海外派遣する必要がある。</p>		

交流校での日本文化披露



タラデールハイスクールでの授業風景



(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	828
取組事業	小学生夢チャレンジサポート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>市内の小学6年生の学級または学校(小規模校)に対して夢を募集して、応募された「夢」から実現する夢を選定し、必要に応じて団体等がサポートして児童たちの夢を実現する。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>応募対象学校・学級数:12校、16学級          応募学校・学級数:6校、8学級          実現した夢:1事業</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>児童が持つ夢を叶えるために、自らで考え自ら実行するための行動力を身に付けることができた。</p> <p>一方、応募数は、対象の半数に留まり少なかった。今後は、児童の自由な発想が夢へのチャレンジに結びつくよう、児童が夢について考え、話し合う機会を増やす必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	22,859
取組事業	語学指導外国青年招致事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>JETプログラム関係指導者4名と委託外国人指導者1名が、担当の小中学校において、外国語活動や英語授業にティームティーチングとして補助的指導者となり、英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図る。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>学校の規模に応じて、各中学校には概ね週2、3日、小学校には週0.5~2日程度の勤務体制をとった。各学校長による勤務状況評価によると、5名ともに勤務状況、指導の状況、勤務態度の3項目全てで3.6点以上(4点満点)であった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>学習指導要領の改訂により平成32年度から小学校3・4年生で外国語活動が新設され、5・6年生で外国語が教科として完全実施になる。授業時間が増え、現在の5名体制では対応が難しいことが予想されるため、外国語教育の充実に向けて早期に検討していきたい。</p>		

(C表)

成果指標	ICTを活用した授業の割合			
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している			
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増	減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	(B) - (A)	
6.1%	7.0%	32.6%	26.5%	
分析・評価	普通教室へのICT機器(タブレット、プロジェクタ等)導入から2年が経過、教員も使い方になれ授業に取り入れられていると思われる。今後は児童用タブレット、特別教室のICT機器整備を行う予定。			

(A表)

施 策	(3) 健やかな体の育成
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	小中学校を対象に各種大会を開催したり、参加費の一部を補助したりすることにより体力の維持・向上に努めることができた。 安全安心な地域食材を活用した学校給食を提供し、食育や地産地消を推進することができた。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 体力の維持・向上		
成果指標	設定なし		
担 当 課	学校教育課	決算額 (千円)	756
取 組 事 業	小学校各種大会出場補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>各学校からの申請により、県大会については補助金として宿泊費、交通費を各学校へ交付し、市内大会については、バス借上料、楽器運搬費などを支出する。</p> <p>【実績】</p> <p>7大会の出場に係る費用について支援を行った。 (大会内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明浜、宇和、野村・城川支部音楽発表会</li> <li>・宇和支部水泳記録会</li> <li>・西予市小学校陸上記録会</li> <li>・青少年赤十字愛媛県大会</li> <li>・愛媛県小学校陸上運動記録会</li> </ul> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>教育活動の一部であるクラブ活動等における保護者負担の一部を軽減することで、教育機会の均等な提供を行うことができた。今後も継続して事業を実施していく必要があるが、大会参加の際には各学校と行程を調整し混乗するなど、より効率的なスケジュールを検討して対象経費の縮減に努めたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 体力の維持・向上		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	6,470
取組事業	中学校各種大会出場補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>各学校からの申請により、補助金として各種大会に出場する生徒及び引率者の宿泊費、交通費等を各学校へ交付する。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>8大会の出場に係る費用について支援を行った。 (大会内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県中学校総合体育大会</li> <li>・四国中学校総合体育大会</li> <li>・全国中学校総合体育大会</li> <li>・愛媛県中学校新人体育大会</li> <li>・愛媛県中学校駅伝競走大会</li> <li>・全日本アンサンブルコンテスト南予大会</li> <li>・全国箏曲コンクール</li> <li>・全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>教育活動の一部である部活動等における保護者負担の一部を軽減することで、教育機会の均等な提供を行うことができた。今後も継続して事業を実施していく必要があるが、大会参加の際には各学校と行程を調整し混乗するなど、より効率的なスケジュールを検討して対象経費の縮減に努めたい。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 地産地消による食育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	72,186
取組事業	せいよ西学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うと共に、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p><b>【実績】</b> 学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理を徹底するとともに、最新の調理機器を使用し、安心・安全な給食の提供ができた。子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施した。また、年間を通して市内産食材を使用し、地産地消を推進するとともに、学校と連携し、給食交流会の実施により食育事業を推進することができた。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 汚染区域・非汚染区域を分けるなど、学校給食衛生管理基準を遵守した施設を整備したことにより、安全・安心な給食を提供することができ、児童・生徒の健康増進、体力の向上を図ることができた。今後は、関係機関との連携により地場産物の掘り起しを行い、積極的な使用により、さらなる地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動も展開していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 地産地消による食育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	30,483
取組事業	三瓶学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うと共に、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p><b>【実績】</b> 三瓶学校給食センターの管理運営を円滑に行い、安心・安全な給食の提供ができた。子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週3回、パン2回の献立を実施し、地産地消にも配慮したおいしい給食提供ができた。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 児童生徒の健康増進・体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行うことができた。今後も児童生徒の健康面では、体格的にはほぼ全国平均で、健康診断でも特に問題はなく、今後も継続した予防教育や食育推進、体力づくりの推進が必要である。</p>		



(A表)

施策	(5) 特別支援教育の充実
評価	順調
評価に対する分析	発達障がい等のある児童・生徒一人ひとりが豊かな学校生活を過ごせるよう、西予市内の小・中学校で必要と認める学校に配置し、児童・生徒一人につき生活支援員一人の体制で、各々が充実した学校生活を送れるよう支援している。支援を行うことにより、対象児童・生徒の理解にもつながり、トラブルを事前に回避することで落ち着いた学校生活につながっている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	59,530
取組事業	小学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 発達障がい等のある児童に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p>【実績】 小学校9校に36人の生活支援員を配置した。平成28年度は48人、平成29年度は45人の児童に支援を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 生活支援員のかかわりが、級友の対象児童理解にもつながり、生活支援員の声かけにより、困り感のある児童の情緒安定につながっている。適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいる。児童のニーズが多様化する中、保護者からの配置希望は年々増加しており、生活支援員の増員を求める声が大い。</p>		

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	21,343
取組事業	中学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 発達障がい等のある児童に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p>【実績】 中学校5校に12人の生活支援員を配置した。平成28年度7人、平成29年度16人の生徒に支援を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 生活支援員のかかわりが、級友の理解にもつながり、教室の移動など生活支援員の声かけにより、スムーズに学校生活を送ることが出来ている。生徒のニーズが多様化する中、保護者の配置希望に対応できるよう取り組んでいきたい。</p>		

(A表)

施策	(7) 安全・安心な学校づくりの推進
評価	順調
評価に 対する 分析	<p>関係機関との連携を深め、地域ぐるみの学校安全対策を充実させ、児童・生徒が安全で安心して学べる教育環境を整備することは大変重要なことである。</p> <p>不審者情報メール配信サービスは、各校を通じて広く周知され保護者の多くが利用しており、不審者事案の即時情報発信のほか台風等自然災害時における休校等の情報提供など、学校や地域の安全確保に広く貢献し続けている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 学校と家庭、地域との連携		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	74
取組事業	不審者情報メール配信事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>西予市内で発生する不審者事案、自然災害対応等、メールでの情報提供を希望する保護者等に対して情報発信を行う。</p> <p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者情報 2件</li> <li>・自然災害対応・学校行事の変更及び園児・児童・生徒の状況(修学旅行等)等のメール配信 200件</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>不審者から安全を確保したり、自然災害等に適切に対応したりするためには、即時の情報発信は不可欠であり、今後も継続していく必要がある。なお、現サービスが平成30年9月に廃止されるため、円滑に移行できるよう新サービスを選定する。</p>		

重点目標 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

(A表)

施策	(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>変化の激しい社会にあつて、教職員の資質・能力の向上を図り、学校組織の活性化を図ることは、これからの社会に対応できる児童・生徒の育成に必要不可欠であると考えます。</p> <p>市所属部会や市教育研究大会は、専門職としての高度な知識・技能や総合的な人間力を高める上で、大いに有効な手段であり、教職員の意識の高まりから年々充実している。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①市所属部会、市教育研究大会の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	114
取組事業	市教育研究大会実施事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 市教育研究大会の授業者に研究費・教材費等を支出する。市教育研究大会の冊子の印刷製本費等を支出する。</p> <p><b>【実績】</b> 10月25日に三瓶・明浜地区の小・中学校を会場に13教科等の研究授業、教科等部会、4部門会を実施した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 西予市内の教職員が参集し、「豊かな心を持ち、自ら学びたくましく生きる西予の子の育成」の研究主題に沿った研修を行うことができた。今後も継続して事業を行っていく必要があるが、アンケート等を実施し、改善、見直しを図っていきたい。</p>		

(A表)

施策	(10) よりよい教育環境づくりの実現
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>西予市小・中学校再編計画の進展に伴い、遠距離となる児童の通学に供するため、スクールバスを整備し、再編後の教育環境整備を図ることができている。</p> <p>また、宇和地区を除く統合拠点校の整備は概ね完了しているが、その他の学校施設についても順次不具合箇所等の修繕が実施できている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 公立学校の再編推進		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	103,206
取組事業	スクールバス維持管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>学校再編に伴い遠距離通学となった児童生徒の登下校時の安全を確保するためにスクールバスを運行する。 市所有スクールバス23台、民間車両1台の全24台 ○明浜小・中：各2台 ○野村小：7台 ○野村中：1台 ○城川小：4台 ○城川中：3台 ○三瓶小・中：各2台</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>平成29年度については、明浜中学校の車両2台が老朽化したことと生徒数の減少に伴い、1台のスクールバスを整備した。他の車両についても、遠距離通学となる児童・生徒の通学に供するため、また、校外学習や各種教育活動等、より良い教育環境の整備を目的に、スクールバスの運行を行った。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>西予市スクールバスは、遠距離通学の児童生徒の安全安心な通学を確保することを目的に整備されたものであり、年間を通して適切な運行を行えたことは、教育環境の整備向上に寄与することができた。</p> <p>今後もより良い教育環境の構築に向け、校外学習や各種教育活動に対する利活用を図り、教育効果を高める施策を展開していく必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びICT設備の整備等		
成果指標	設定あり(耐震化率)		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	42,512
取組事業	小学校施設整備事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内小学校施設の中で、老朽化の進んだ施設を改築し、安全・安心な教育環境を整備する。</p> <p>【実績】</p> <p>城川小学校屋内運動場の改修を実施した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>予定通り工事は完了し、教育環境が整備できた。 今後の課題としては、多くの学校施設がほぼ同時期に建築されており、経年劣化による修繕箇所が増加している。長寿命化も視野に入れ、トータルコストを縮減できるように検討する。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びICT設備の整備等		
成果指標	設定あり(耐震化率)		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	46,048
取組事業	中学校施設整備事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内中学校施設の中で、老朽化の進んだ施設を改築し、安全・安心な教育環境を整備する。</p> <p>【実績】</p> <p>野村中学校部室の改築及び宇和中学校部室の改築設計を実施した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>予定通り工事は完了し、教育環境が整備できた。 今後の課題としては、中学校施設は経年劣化による修繕箇所が増加している。長寿命化も視野に入れ、トータルコストを縮減できるように検討する。</p>		

(C表)

成果指標	耐震化率		
達成状況	A:達成に向けて予定どおり進行している		
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	(B) - (A)
86.1%	100%	100%	13.9%
分析・評価	小学校の統合により校舎の改築も順調に進み、平成28年度で目標とする100%を達成できた。		

重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(A表)

施 策	(1) 生涯学習の推進
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	生涯学習社会の構築と魅力ある地域づくりの実現に向け、社会教育委員会等で生涯学習事業についての協議・意見交換を行い、ライフステージに応じて主体的に学習できる場や機会の拡充に努めた。 また、社会教育実態調査では、事業の実施及び社会教育施設の利用状況はともに微増しており、人口減少の中でも積極的な社会教育の場所と機会が提供されている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担 当 課	生涯学習課	決算額 (千円)	1,605
取 組 事 業	家庭教育支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>子育てで孤立・孤独になりがちな保護者をサポートし、子育て応援のまちづくりを進めるため、①家庭教育・子育て応援活動（事務所、中学校での相談業務）、②情報の提供活動、③学習機会の提供、④イベントの実施 の4つの活動を中心とした事業展開を行う。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>相談件数は平成28年度が19件、29年度は11件と減少している。 学習会・イベントの実施は平成28年度が6件、29年度も6件であった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>家庭教育支援の必要性が高まっている一方で、定例相談の相談件数が年々減少しており、相談方法の見直しや関係機関とのネットワーク構築等が課題となっている。真に支援を必要とする人をサポートできるよう、継続的な取り組みが必要である。</p>		

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	851
取組事業	成人式開催事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 新成人に大人としての自覚と社会的責任を果たすことを促し、ふるさとを愛する心を育むため祝福・激励する事業(式典、記念行事)。</p> <p><b>【実績】</b> 平成30年1月3日に実施。 ・対象者数 395名(男性197名、女性198名) ・出席者数 296名(男性145名、女性151名) ・出席率 74.9%</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 当日行ったアンケートでは、回答者のほとんどが「良かった」という感想だった。新成人にとって家族や友人、ふるさとへの思いを再認識でき、新たな自覚が芽生えるような式でありたい。</p>		

(A表)

施 策	(2) 公民館活動の推進
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	中央公民館及び24の地区公民館で、地域性や住民ニーズに即した事業を実施している。地域に根ざした活動を通して、住民の教養の向上や健康の増進、生活文化の振興等を図り、まちづくりを支える地域人材の育成に寄与している。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担 当 課	明浜教育課	決算額（千円）	1,505
取 組 事 業	明浜教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 公民館を生涯学習の拠点として、各種団体や関係機関と連携を深めながら、人づくりと心ふれあう元気な地域づくりを進める。</p> <p><b>【実績】</b> 明浜町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催。地域や学校と連携した生涯学習活動を幅広く展開した。</p> <p>○主な事業          青少年教育 通学合宿、自転車キャンプ          成人教育 粗大ゴミ回収、山あるきんぐ教室          婦人教室 ホウ酸団子作り、お菓子作り講座          家庭教育 人形劇鑑賞、子育てサロン          文化教育 産業文化祭(ふるさと芸能祭)、俳句大会          社会体育 地区民運動会、綱引き合戦、元旦走ろう会          ニュースポーツ大会、歩け歩け明浜海道          総合教育 狩江地区公民館振興研究大会</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 公民館は住民一人ひとりが自らの手でより住みやすく、誇りと生きがいを持てる地域に変えていくための活動拠点となる施設である。明浜地区では人口の減少や少子高齢化が急速に進んでおり、今後も子育て支援や高齢者の生活支援等、地域課題に向けた更なる学習の取り組みが必要となっている。</p>		



(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実														
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）														
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	6,518												
取組事業	中央公民館・各地区公民館生涯学習事業（宇和）														
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b>          全市を対象とした中央公民館生涯学習事業のほか、宇和町内7公民館において実生活に即した学習の場や住民ニーズに応える生涯学習事業を展開する。</p> <p><b>【実績】</b>          各公民館で地域特性や課題を生かした活動を展開し、新たな学習を取り入れた学びの機会を提供しながら、住民のニーズに応える生涯学習活動を実施した。          また、急速に社会環境が変化する中で公民館が担う役割は多様化しており、地域防災や地域活性化等の住民自治活動の拠点施設となるような転換期を迎えており、自治センター化に向けた検討を行った。</p> <p>○主な事業</p> <table border="0"> <tr> <td>家庭教育</td> <td>料理教室、つながり学級、パパキャンプ</td> </tr> <tr> <td>青少年教育</td> <td>わんぱくチャレンジスクール、通学合宿 体験学習、防災キャンプ</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>英会話、古典読書、各種趣味講座、スポーツ教室 ふる里探訪、健康教室</td> </tr> <tr> <td>婦人教育</td> <td>ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級 レクバレー教室、各種趣味講座（絵手紙等）</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>クロッケー教室、料理教室、健康教室、手芸教室</td> </tr> <tr> <td>人権教育</td> <td>各地区人権の集い、指導者研修会、地区別学習会 草の根懇談会</td> </tr> </table> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b>          公民館事業は、それぞれに公民館運営審議会の意見を踏まえながら、利用団体からの企画提案や学校・地域、各種団体等と連携した取り組みを進めていく。          また、地域住民の生活を支え学びの拠点として生涯学習活動を推進するとともに、公民館職員の資質向上を図りながら、心豊かな活力ある人づくり・地域づくりに資する事業を展開する。</p>			家庭教育	料理教室、つながり学級、パパキャンプ	青少年教育	わんぱくチャレンジスクール、通学合宿 体験学習、防災キャンプ	成人教育	英会話、古典読書、各種趣味講座、スポーツ教室 ふる里探訪、健康教室	婦人教育	ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級 レクバレー教室、各種趣味講座（絵手紙等）	高齢者教育	クロッケー教室、料理教室、健康教室、手芸教室	人権教育	各地区人権の集い、指導者研修会、地区別学習会 草の根懇談会
家庭教育	料理教室、つながり学級、パパキャンプ														
青少年教育	わんぱくチャレンジスクール、通学合宿 体験学習、防災キャンプ														
成人教育	英会話、古典読書、各種趣味講座、スポーツ教室 ふる里探訪、健康教室														
婦人教育	ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級 レクバレー教室、各種趣味講座（絵手紙等）														
高齢者教育	クロッケー教室、料理教室、健康教室、手芸教室														
人権教育	各地区人権の集い、指導者研修会、地区別学習会 草の根懇談会														

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	野村教育課	決算額（千円）	1,048
取組事業	野村教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 全町を対象とした野村教育課生涯学習事業のほか、野村町内6公民館では地域住民の社会教育・生涯学習活動の拠点として地域コミュニティづくりを推進するとともに、関係機関・団体との連携を深め、地域の特色を生かした活力ある地域づくりに努める。また、それぞれの地区の今後を見据えた災害に強い地域活動を進める。</p> <p><b>【実績】</b> それぞれの公民館において、事業計画に基づき地域の特色を生かした事業を展開し、各団体や地域のニーズに応えるべく学習やイベント、体験の場の提供を行った。 全地区館で公民館報を発刊し、地区内の話題提供と情報発信に努めた。また、四国西予ジオパークの推進に向けた活動、のむらスポーツクラブ、ノルディック夢クラブと連携した住民の健康増進の取り組みを行った。</p> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり 地域づくり交付金事業の展開、婚活イベント、南海トラフ地震を想定した全地区上げての避難訓練及び防災マップの作成・無線通信訓練、中筋郷大門松ライトアップ及びライトアップイベント</li> <li>・青少年教育 アドベンチャースクール、体験カルチャースクール教室（農業体験）、通学合宿、チャレンジ隊合同での1泊2日のキャンプ、西予の川を守ろう会との連携、魚つかみ大会、プラットフォーム事業、スポーツ交流会、1日キャンプ、田植え・稲刈り体験事業、交通安全体験事業、クッキング交流会</li> <li>・婦人教育 婦人学級、花いっぱい運動、人権学習会、着付け教室、料理教室、健康教室、ガーデニング教室、一日研修</li> <li>・文化教育 文化祭、史談会の協力・援助</li> <li>・高齢者教育 健康づくり、クロッカー・グランドゴルフ大会、1泊(1日)研修</li> <li>・人権・同和教育 人権のつどい「野村会場」、各小集落学習会、校区別人権・同和教育学習会、野村分会人権・同和教育推進員及び指導者研修会、野村支所課内人権・同和教育研修会</li> <li>・生涯スポーツ 各種大会、のむらスポーツクラブ・ノルディック夢クラブとの連携</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 小学校の閉校に伴い地域の核となる公民館活動の実践に向けて、魅力ある公民館活動の展開を図るとともに、地域づくり組織との連携による交付金事業を活用した地域づくり活動等、住民参加型の事業を更に推進していく必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実																
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）																
担当課	城川教育課	決算額（千円）	482														
取組事業	城川教育課・各地区公民館生涯学習事業																
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 市民一人ひとりの自己学習と自治意識を高めるための生涯学習活動を展開し、人づくりと心の通い合うふるさとづくりを推進する。</p> <p><b>【実績】</b> 生涯学習活動の拠点施設として、地域住民の要望を取り入れた特色ある事業展開を進め、生きがいや健康づくりの場とすることも併せて地域活性化に寄与した。</p> <p>○主な事業</p> <table border="0"> <tr> <td>青少年教育</td> <td>愛護班活動</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>門松設置</td> </tr> <tr> <td>婦人教育</td> <td>各種教室</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>クロッケー大会、三世代交流</td> </tr> <tr> <td>人権教育</td> <td>人権懇談会</td> </tr> <tr> <td>社会体育</td> <td>運動会、レクバレー大会</td> </tr> <tr> <td>文化教育</td> <td>盆踊り、花火大会</td> </tr> </table> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 公民館は、地域の拠点施設として更なる役割を求められている。今後も各地域の課題と現状を見つめ、住民のニーズに沿った各種事業や地域の活性化につながる住民参加型の魅力ある事業を推進していくことが必要である。</p>			青少年教育	愛護班活動	成人教育	門松設置	婦人教育	各種教室	高齢者教育	クロッケー大会、三世代交流	人権教育	人権懇談会	社会体育	運動会、レクバレー大会	文化教育	盆踊り、花火大会
青少年教育	愛護班活動																
成人教育	門松設置																
婦人教育	各種教室																
高齢者教育	クロッケー大会、三世代交流																
人権教育	人権懇談会																
社会体育	運動会、レクバレー大会																
文化教育	盆踊り、花火大会																

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	1,169
取組事業	三瓶教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>公民館を生涯学習の拠点として、住民が自発的・主体的に活動できるように育成・援助しながら取り組みを進める。小学校の統廃合以降、3地区公民館が協力し連携を図りながらイベント及び講座事業を実施している。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>既存の事業について評価・点検を行い、内容を見直しながらの取り組みを進めた。SNSを活用した情報発信に努めることで、これまで参加が少なかった世代（20代～40代）の受講や参加が徐々にではあるが増加した。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 アドベンチャーみかめ、わんぱく学級、科学教室 書初め大会、小学生バレーボール教室</p> <p>高齢者教育 高齢者学級、クロッケー大会、健康教室、防災教室</p> <p>成人・婦人教育 料理教室、干支押絵づくり、民謡踊り講習会</p> <p>社会体育 分館交流球技大会、バスケットボール3×3大会 レクバレー大会、健康ウォーク</p> <p>各種展示会 手作り作品展、年賀はがきコンクール作品展</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>人口減少等により生涯学習事業への参加者が減っていく中、3地区館合同で事業を行う機会を増やしたことで、同じ経費でありながら参加者数を増やすことが可能となった。しかし、合同事業を増やすことは地区館の特色をなくすことにもつながりかねないため、住民ニーズを確実に把握し、ニーズに沿った学習機会の提供に努めていく必要がある。</p>		

(C表)

成果指標	公民館運営審議会開催回数			
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	（B）－（A）	
2.3	3.0	2.4	0.1	
分析・評価	地区公民館24館ごとに公民館運営審議会を置き、年間2～3回開催している。団体連絡協議会等と同日開催の公民館もあり、概ね計画どおり進行した。			

(B表)

事務事業等	② 社会教育関係団体の育成と連携		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	7,228
取組事業	社会教育団体育成事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 社会教育団体の育成・支援のため、運営経費の一部を補助金として交付する。</p> <p><b>【実績】</b> PTA、愛護班、女性団体連絡協議会、壮年会、婦人会、ボーイスカウト、西予国際交流協会、青年団、野村町若葉会、野村ふるさとづくりの会、三瓶町幼児教育振興協議会の11団体に補助金を交付した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> どの団体においても、会員の減少や高齢化、活動の低迷・マンネリ化が課題となっている。活動内容を周りに幅広く知ってもらうことで会員の増加を目指すとともに、新規事業への積極的な取り組みにより活動意欲の向上と地域活性化につなげていく必要がある。</p>		

(A表)

施策	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成
評価	概ね順調
評価に 対する 分析	<p>市内71名の青少年補導員が定期的な街頭補導活動やイベント・お祭り等での移動補導センターの開設を通じて、青少年の非行や被害防止に努めている。また、自転車通学生の指導・点検や合同補導など、学校や警察と連携した活動を展開している。</p> <p>平成29年中に管内で検挙補導された少年は2人で、28年より2人減少しており、県下でも少ない水準を保っている（「平成29年生活安全白書」西予地区防犯協会・西予警察署）。しかしながら、インターネットやSNS、スマートフォンの普及により、青少年の問題行動が表面化しにくい状況になっており、今後の補導活動の在り方も考えていく必要がある。</p> <p>引き続き「見せる非行防止」として補導活動を実施するとともに、新しい青少年問題の情報収集、補導員への周知、指導に努めたい。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定あり（街頭補導回数） 設定あり（移動補導センター回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	1,541
取組事業	青少年補導センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 青少年補導員が定期的な街頭補導活動を行うとともに各地区のお祭りや行事等で移動補導センターを開設し、青少年への声かけ・指導を実施した。</p> <p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭補導 138回</li> <li>・出動補導員数 延べ480人</li> <li>・移動補導センター開設 22回</li> <li>・声かけ指導した少年数 125人</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 補導委員会各支部（旧町ごと）において、計画的な街頭補導を実施することができた。また、警察や学校関係機関とも連携して実施できている。今後は、インターネットやSNS、スマートフォンの普及等に起因する問題の対処法等について、青少年補導員も理解・学習を深めていく必要がある。</p>		

(C表)

成 果 指 標	街頭補導回数		
達 成 状 況	A：達成に向けて予定どおり進行している		
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増 減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	(B) - (A)
130	130	138	8
分 析 ・ 評 価	青少年補導員による活発な補導活動が実施できた。今後も青少年の現状に沿った、より効果的な活動を推進していく。		

(C表)

成 果 指 標	移動補導センター回数		
達 成 状 況	A：達成に向けて予定どおり進行している		
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増 減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	(B) - (A)
20	20	22	2
分 析 ・ 評 価	多くの参加者が集まるイベントやお祭り等で移動補導センターを開設し、会場での補導活動を行うことにより、非行や問題行動を未然に防ぐことができた。引き続いて実施していく。		

(A表)

施 策	(4) 人権・同和教育の推進
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	人権・同和教育の推進のため、地区別学習会や人権のつどい、講座等を開催し、身近な人権問題を取り上げた学習活動を進めた。人権課題を自分のこととして捉えるため、まずは学習会に参加することが大切である旨、機会あるごとに発信してきた。今後も学習活動の内容を工夫しながら継続し、多くの市民が高い人権意識を持てるよう取り組んでいく必要がある。

## ☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 学習機会の拡充と啓発活動の充実		
成果指標	設定なし		
担 当 課	生涯学習課	決算額 (千円)	759
取 組 事 業	人権のつどい事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>人権意識を高め人権問題への関心を深めるために市内3会場（宇和、野村、城川）で「西予市人権のつどい」を開催している。宇和会場と野村会場は、人権啓発地方委託事業（法務省）により実施。対象者は、行政や各種団体、企業関係者を中心とした全市民で、講演会や人権コンサート等の内容である。</p> <p>【実績】</p> <p>○宇和会場 7月1日 ミニフェスティバル形式 （宇和文化会館、参加者：約600人） 内容：人権コンサート（う～みさん） 演題：「あなたに会えてよかった」</p> <p>○野村会場 6月25日 （乙亥会館、参加者：約200人） 内容：講演会（金 慶子さん） 演題：「みんなちがって、みんないい」</p> <p>○城川会場 7月1日 （城川中学校体育館、参加者：約190人） 内容：講演と演奏（さくらいりょうこさん） 演題：「きっとできる、やればできる」 ～魔法は信じる人にだけ現れる～</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>会場ごとに内容を工夫して取り組んでいる。多くの市民が参加しているが、20～30歳代の若い人たちにもっと参加してもらえるような内容の見直しや工夫が課題である。また、未実施地区の住民への参加呼びかけなど、幅広く広報を行っていく必要がある。</p>		



(B表)

事務事業等	② 人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成		
成果指標	設定あり（地区別人権・同和教育懇談会開催回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	898
取組事業	人権教育推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内各地区の推進講師や推進員が指導者研修を受けた後、それぞれの地域で推進講師や推進員が中心となり、地域住民を対象に学習会を開催している。部落差別の解消の推進に関する法律の周知を図ることも含め、同和問題を中心とした人権問題への学習活動に取り組んでいる。</p> <p>【実績】</p> <p>市内各地区において、地域住民が人権・同和問題に関するDVDを視聴するなどし、その感想や意見交換を行い、また法律制定の意義や目的について理解を深めた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>学習会の開催において、参加者の固定化や若い人の参加者が少ないことなどの課題がある。今後、若い人が参加しやすい学習会の方法や呼びかけの工夫を考えていく必要がある。</p>		

(C表)

成果指標	地区別人権・同和教育懇談会開催回数			
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	（B）－（A）	
154	154	154	0	
分析・評価	学習会の開催において「学習会の手引き」を作成している地区もあり、取り組みやすい工夫がなされてきているが、若い人の参加意欲を高めるような取り組みも必要となっている。			

(B表)

事務事業等	③ 豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	明浜教育課	決算額(千円)	15
取組事業	塔和子顕彰事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 13歳で社会や家族から隔離されてハンセン病療養所に入所し、1000編にものぼる詩作を通してハンセン病問題や社会の在り方、人間の在り方・生き方について訴え続けた塔和子さんを市民とともに顕彰していく。</p> <p><b>【実績】</b> ○国立療養所「大島青松園」への訪問。 ○国立ハンセン病資料館・黒尾和久学芸部長が塔和子資料室を視察。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 7月10日に開催した大島青松園訪問事業に、明浜中2年生13人を含む市民27人の参加があった。塔和子さんをはじめ入所者の方々が背負ってこられた苦しみや差別解消への闘いに共感することができた と考える。 この事業を継続し、少人数ずつでも、また小・中学生にとっても、ハンセン病を患った人たちに対する国の施策や依然として残る偏見・差別による人権侵害について、人権教育の中で学ぶ大切な機会としていく。</p>		

(A表)

施策	(5) 図書館活動の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	図書館の利用者数、貸出人数はともに微増している。少子化の影響もあり、全国的には平成22年をピークに貸出人数は減少傾向だが、本を借りる以外の目的で来館する利用者が増えていることも昨今の傾向である。レファレンスサービスのための資料の充実はもちろん、学習スペースの拡充やインターネット環境の整備など、図書貸出以外の機能を高めていくことが求められている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 読書活動の普及啓発		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	633
取組事業	ブックスタート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 0歳児（4カ月児）健診の機会に絵本をプレゼントする事業である。赤ちゃんと保護者が、絵本を介して心触れ合う時間を持つきっかけとなるように。重ねて、3歳児健診時にも絵本（6種類の中から1冊）をプレゼントし、小学1年生には「1年生のほんだな」の中から推薦図書を紹介したリーフレットを配布する。</p> <p><b>【実績】</b> 関係各課の協力を得て、0歳児及び3歳児、小学1年生に対して漏れなく事業を実施できた。 0歳児:195人、3歳児:240人、1年生:270人。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 関係課（健康づくり推進課、支所生活福祉課、学校教育課）との連携により育児支援、家庭教育支援につながっている。豊かな情操を育む読書生活のスタートとなる大切な事業である。</p>		

(B表)

事務事業等	② 図書館サービスの充実		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	1,510
取組事業	図書館電算システム管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 図書館システムを活用し、データ作成と検索の利便性向上、カウンター業務の効率化を図り、利用者に対する種々のサポート体制の強化に努める。また、社会教育の機関として教育・研究活動の支援、読書人口の増加という目的達成につなげる。</p> <p><b>【実績】</b> 検索システムによるレファレンスサービス、インターネット予約等の件数は増加している。 ○アクセス件数 新刊(新着)検索：H27 1,817件、H28 2,198件、H29 2,021件 貸出予約：H27 1,043件、H28 1,142件、H29 1,097件</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 図書館システムを使ったサービス業務や閲覧を行う利用者が増えている。本を借りるだけでなく、長時間滞在できるような図書館となるよう環境整備を進め、読書人口の増加に努めていく。</p>		

(C表)

成果指標	利用者数（図書を借りた人数）			
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	（B）－（A）	
40,854	42,000	42,804	1,950	
分析・評価	インターネット予約や検索等、システムを活用する利用者が増加している。サービス向上に関する利用者の要望は増しており、それに対応するために業務の効率化と体制強化が必要である。			

重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(A表)

施策	(1) 文化財の保護と活用
評価	順調
評価に対する分析	<p>200件を超える市指定文化財の再評価や埋蔵文化財の分布調査を実施したほか、歴史文化講演会など文化財の魅力を伝える取り組みを行っている。また明浜町狩浜地区が平成30年度に国の重要文化的景観に選定が見込まれる。選定後は整備・活用を図り適切な保護に努めたい。</p> <p>無形民俗文化財の継承活動や後継者育成を積極的に行うことで文化財に親しむ人の割合は安定している。さらに文化財の持つ魅力を広く伝えることで、市民の文化財に対する意識を高め、文化財を地域づくりに活かせるよう取り組みたい。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（文化財を見に行っただことのある人の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	8,140
取組事業	文化財保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>市内の指定文化財や指定候補物件について専門家に調査を依頼し、文化財の再評価を行うとともに新たな文化財の発掘に努め、文化財の保護、活用を進める。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>元高知県教委溝渕博彦氏に依頼し、建造物の調査を行った。大洲藩鳥坂口留番所跡のシロアリ駆除、惣川三島神社大白檜の落枝の撤去等に補助金を支出した。</p> <p>茶堂では本村茶堂の漆喰の剥落部分の修理を行った。また9月には香川大学釜床准教授の協力を得て、茅葺き茶堂の悉皆調査を行った。</p> <p>登録有形文化財候補物件等については、岩井の石灰窯（明浜町宮野浦）等で文化庁調査官に実査していただいた。10月には八幡浜街道笠置峠越が国史跡に指定された。</p> <p>西予市野村町出身の文楽人形遣い吉田和生氏（本名荻野恒利）がいわゆる人間国宝に認定された。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>引き続き専門家の協力を得ながら調査を実施するとともに、文化財の見直しの方向性を文化財保護審議会等で議論しながら検討する。併せて文化財に対する補助金の在り方も検討する。</p>		

## (B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定なし		
担当課	スポーツ・文化課	決算額(千円)	10,863
取組事業	文化的景観保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>狩浜地区の文化的景観の価値を正しく評価し、地域で護り、次世代へ継承するため、文化財保護法に規定された保護制度を運用し、保護・活用する。調査委員会指導の下、保存調査を実施し、価値を明らかにする。その価値を護るための保存計画を策定し、重要文化的景観の選定申出を行う。選定後は、整備・活用を図るための整備活用計画を策定し、保護・活用を図る。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>①保存調査(4~8月)  ②調査委員会(3回:9月・1月・3月)  ③ワークショップ(1回:3月)  ④調査成果報告会(1回:1月)  ⑤調査成果報告書発刊  ⑥保存計画及び景観計画の策定。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>保存調査の実施により、文化的景観の本質的価値を明らかにし、調査成果報告書を発刊できた。また、本質的価値を護るための保存計画及び景観計画を策定できた。</p> <p>今後は、平成30年度中に重要文化的景観の選定申出を行うこととしており、選定後の計画的な修理・修景や地域づくりへの活用が課題となる。対応としては、平成30年度に、文化的景観保護審議会を設置し、平成30~31年度の2年間で整備活用計画を策定し、適切な保護・活用を図る。</p>		



第7回 調査委員会の様子(平成29年9月)



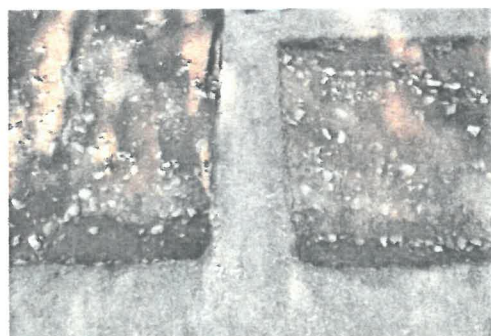
家屋調査の様子(平成29年4月)

(C表)

成 果 指 標	文化財を見に行ったことのある人の割合		
達 成 状 況	A：達成に向けて予定どおり進行している		
基準値 (A)	目 標 値	実績値 (B)	増 減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	(B) - (A)
70.9%	75.0%	-	-
分 析 ・ 評 価	29年度はまちづくりアンケートを実施していない為、その実績は出せないが、歴史文化講演会や駅からウォーク等のイベントに多くの市民参加があったことから文化財に対する関心の高さがうかがえる。		

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	10,714
取組事業	埋蔵文化財発掘調査事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>市内遺跡詳細分布調査（国庫補助事業）により埋蔵文化財包蔵地の把握と周知に努め、埋蔵文化財保護の基盤を整備し、開発への対応を行う。西予市の重要遺跡について、保存と内容把握を目的とする試掘確認調査を行う。加えて、坪栗遺跡（山田）出土遺物の整理作業を進める。</p> <p>また、「四国八十八か所霊場と遍路道」の世界遺産化の動きの中で、歴史の道の調査を行い国史跡の指定を目指す。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>小森古墳（宇和町山田）を重要遺跡として位置づけ、基準点測量と試掘確認調査を行った。その結果、主体部と関係すると考えられる石列を検出した。また、岩井の石灰窯（明浜町宮野浦）についても、内容確認のための試掘確認調査を行い、石灰の投入口を2基確認した。</p> <p>整理作業では、坪栗遺跡出土遺物の整理を行った。</p> <p>また、宇和町岩木において、開発対応の試掘調査を実施した他、太陽光発電の建設予定地等の踏査を行った。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>今後は分布調査を継続しつつ、引き続き重要遺跡の試掘確認調査に重点を置いて継続的に調査を行う。歴史の道調査では、大寶寺道（宇和町明石）の意見具申を目指す。</p>		



小森古墳（宇和町山田）試掘確認調査



岩井の石灰窯（明浜町宮野浦）試掘確認調査



(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
担当課	明浜教育課	決算額（千円）	334
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 愛媛県指定無形有形文化財である俵津文楽の保存伝承活動の支援。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第58回愛媛県指定無形民俗文化財文楽合同公演大会</li> <li>○滋賀県富田人形と視察交流</li> <li>○野福峠さくらまつり公演</li> <li>○南予の文楽（人形浄瑠璃）公演</li> <li>○明浜中学校文楽指導</li> <li>○明浜小学校文楽教室</li> <li>○ふるさと芸能体験（県歴博）</li> <li>○文楽人形展示（野村シルク博物館）</li> <li>○明浜ふる里芸能祭参加</li> </ul> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>愛媛県最古の文楽がこの地にあることで地域の活性化も図られているが、地域も座員も伝統文化の保存伝承に対する意識が根付いていて、合併以前からの補助金であるため今後は補助金算定基準を策定のうえ、執行する必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	245
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>愛媛県指定無形有形文化財である朝日文楽の保存伝承活動事業。「こども朝日文楽クラブ」等の後継者育成指導を行っている。</p> <p>【実績】</p> <p>こども朝日文楽クラブ、三瓶高等学校文楽による定期公演や県文楽合同公演大会への参加や出前公演、文化祭にも参加した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>組織体制の強化及びサポート体制の構築を実現するために、朝日文楽の披露の場を増やし、保存会員の確保を図るとともに、後継者の育成も必要である。また、人形、衣裳等の修繕も必要であり、その修繕料が負担になっている。また、朝日文楽保存会の役員体制について、現行の体制の見直しを進める。</p>		

(A表)

施 策	(2) 文化の振興
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	<p>西予市内の中学生が長野県松本市の異文化に触れることで新たな創造性が生まれ、両市の中学生同士の交流が友情を育んでいる。これらの経験が豊かで創造的な青少年の健全育成につながっている。</p> <p>伝統芸能をはじめとする文化活動の取組は、高齢化や後継者不足など課題は多いが、行政主体で進められてきた取組は、実行委員会形式等で自分たちが主体的に関わる意識が芽生えてきた。今後も、市民が幅広く文化に親しむことができる環境を充実させていくことに努めたい。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化の継承、次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
担 当 課	スポーツ・文化課	決算額 (千円)	1,021
取 組 事 業	開智・開明学校姉妹館交流青少年派遣事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>旧開智学校と開明学校の姉妹館提携を記念して、西予市の中学2年生20名(各校代表)が松本市を訪問し、松本市の中学生との交流を深めるとともに、西予市では体験できない文化や自然に触れる。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>7月31日(月)から8月4日(金)の4泊5日の日程で青少年派遣事業を実施した。中学生同士の交流と親睦を図るとともに、松本市の教育・文化施設に触れた。乗鞍高原での自然体験及び塩尻市の重要伝統的建造物群保存地区の町並み保存研修を行った。姉妹館提携30周年と交流事業10周年を記念し、松本城公園で西予市PR活動を行った。慣れないパンフレット配布などに苦戦する生徒もいたが、おおむね好評で生徒には良い経験となった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>松本市の教育文化に触れ見識を深めるとともに、中学生同士の交流を深めるため、研修内容や交流時間を協議検討し、より豊かで創造的な青少年の育成を図る必要がある。記念事業で実施したPR活動が、今後継続可能か各関係機関と調整したい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化の継承、次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
担当課	三瓶教育課	決算額(千円)	2,100
取組事業	宮中雲子音楽祭補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>平成10年度から、本市出身の詩人宮中雲子先生の、第8回サトウハチロー賞受賞を記念して、合唱コンクールとして開催し、平成29年度第20回目を数えた。コンクール部門(少年少女の部・一般の部)及びフェスティバル部門(無審査、講評有)で構成し、市内外からの参加者を募っている。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>県内外の高いレベルの団体の参加により、本市の音楽レベルの向上と豊かな心の醸成が図れるとともに、県内外で人気のある音楽祭となっている。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>県内外で人気のある音楽祭となっており、その場を西予市が提供しているということで、市のイメージアップに繋がっている。市内の参加団体が少ない。市内から参加いただく団体を増やす工夫が必要。</p>		

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	457
取組事業	文化振興事業（ふるさと芸能祭補助事業）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>西予市文化協会宇和支部に加盟する団体を中心に組織する実行委員会主催で、宇和地区の舞台芸術、伝統芸能の発表を行うほか、体験教室を実施する。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>11月4日（土）に、オカリナ、フラダンス、コーラス、フォークダンスの体験教室を実施し、計57名の参加者があった。11月5日（日）には芸能祭を実施し、18団体が発表を行った。両イベントに外部からラブリーハーモニー（オカリナ）とDANCE☆SPICY☆（ダンス）を呼び、新たな出演者の導入を図った。当日は、最大200名、延べ400名程度の来場者があった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>最近の課題として、①若い世代の参加増、②観覧者が求める発表、③市民への文化の魅力発信が挙げられる。これらに対応するため、今年は芸能祭では文化協会以外から2団体を招いた。しかし、晴天で他のイベント等が重なったためか、昨年度より来場者が100人程度減少した。今後も、新たな団体、若い人々を取り込み団体間の交流を図るとともに、いっそう市民への宣伝に努める必要がある。</p>		



体験教室（オカリナ）の様子

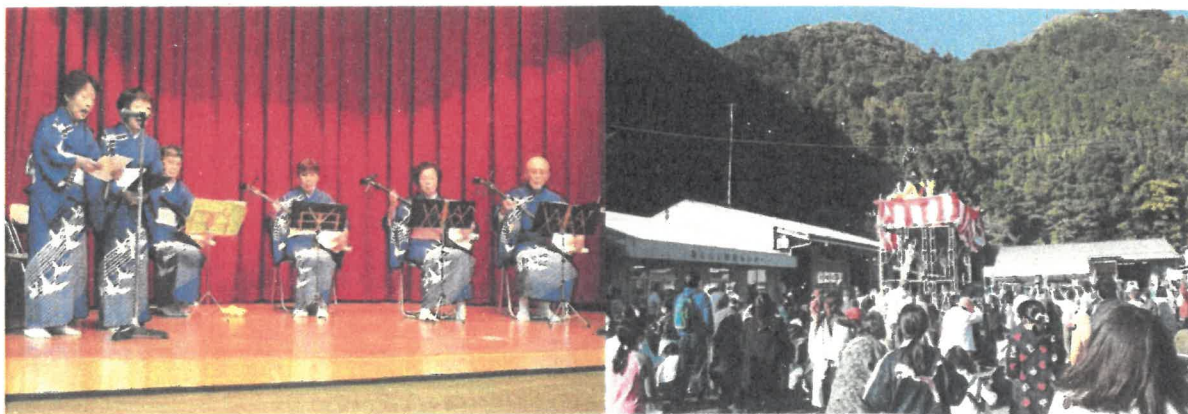


宇和町ふるさと芸能祭（郷内七福神踊り）

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	700
取組事業	奥伊予ふるさと祭補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 毎年11月第2土曜日・日曜日の2日間にわたり開催する「奥伊予ふるさと祭」は、城川地域の産業祭と文化祭を合わせたイベントである。産業と文化振興により地域の活性化を図るとともに、市民の生きがいをづくりを目的としている。</p> <p><b>【実績】</b> 文化展のメイン会場である総合センターしろかわでは、1日目は「奥伊予らいぶ2017」を、2日目は文化協会城川支部加入団体の発表会を行った。また、J・Aを会場に産業展や各種団体での特色ある展示や多彩なイベントを開催した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 50回継続してきた城川地域の一大イベントである。しかし、少子・高齢化・イベントのマンネリ化により客数が減少傾向にある。例年、関係団体が工夫を凝らした展示やイベントに取り組んでいるが、今後は1日に集約してより充実した内容で開催する予定である。</p>		



文化協会発表（民謡）（写真左）と福もちまき（写真右）

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	16,804
取組事業	全国かまぼこ板の絵展覧会事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> かまぼこ板に描いた絵を公募し、応募のあった作品から入選作品の選考を実施。7月15日から12月3日まで第23回全国「かまぼこ板の絵」展覧会をギャラリーしろかわで開催。応募作品はすべて展示。</p> <p><b>【実績】</b> 全国46都道府県及び海外からはインドネシア等から応募があった。16,695人から8,978点の作品が寄せられた。123日の期間中（7月15日から12月3日）、入館者は7,018人だった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 応募点数が前年に比較してやや微減した。高齢化、人口減少に伴う応募数の自然減は避けられないため、事業の転換期にあることを意識しながら新規応募者への応募呼びかけや事業運営を行う。</p>		



第23回全国「かまぼこ板の絵」展覧会の様子

(C表)

成果指標	芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合			
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	（B）－（A）	
17.9%	20.0%	-	-	
分析・評価	平成29年度は、まちづくりアンケートを実施していないため、芸術文化活動に取り組んでいる市民の割合は確認できないが、ここ数年18%前後で推移し安定していると思われる。色々な文化活動に対して参加しやすい環境の提供や取組が必要である。			

(A表)

施策	(3) 文化活動の環境と基盤の整備
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>市内2つの文化会館は共に平成2、3年に開館し老朽化が著しい。施設内の設備を改修することで、利用しやすい施設環境となり来客者の増加を図っている。</p> <p>宇和文化会館ではトイレの洋式化改修を完了し、三瓶文化会館では空調改修2期工事と屋根防水改修を行っている。利用者が安心して文化活動に取り組むことができる環境づくりが利用者の増加につながると思われる。今後も改修計画を立て緊急性の高い箇所から整備を進めていく必要がある。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	51,084
取組事業	宇和文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>平成3年12月に開館後、財団法人宇和文化会館が管理受諾、平成18度からの指定管理者制度移行後も、同法人が引き続き（平成24年度途中に一般財団法人に移行）管理しており、現在4度目の更新中である。この指定管理者に対して、会館管理運営委託料及び施設の大規模改修に伴う費用支出を行うものである。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>29年度は28年度実施した残りのトイレ洋式化を執行し、施設の環境が整備され利便性が高まった。</p> <p>平成29年度は自主事業を6公演、共催事業を8公演実施し約9,000人を集客した。貸館利用では、年間約1,000件、約44,000人の利用促進につながった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>老朽化した施設の改修は計画的に実施し、平成30年度は舞台の吊物機構の改修を予定している。利用者の利便性はもとより、安全に配慮した市民目線に見合う文化会館を目指す。</p> <p>文化事業は鑑賞型をはじめ、市民参加型事業も積極的に展開し定着してきた。今後も定期点検報告により、緊急性の高いものから改修し、安全・安心を確保しながら利用者の増加につなげる。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	47,605
取組事業	三瓶文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>三瓶文化会館の維持管理及び運営を行う。施設利用は予め1週間前までに申請書を提出後、教育委員会の許可を受け利用する。最長半年先まで申請可能。利用料金(減免含む)は、西予市三瓶文化会館条例第10条に規定されている。</p> <p>開館時間 午前9時00分から午後10時00分まで 休館日 12月28日から翌年1月4日まで</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>平成29年度利用実績延べ27,000人。コンサート、生涯学習教室、各種イベント、図書館、プラネタリウム等多数の市民の方に利用いただいた。29年度は、空調改修2期工事・屋根防水改修工事を行った。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>平成2年の開館以降、年々利用者は減少傾向にあるが、修繕など維持経費が増加傾向にある。今後貸館を停止するような緊急事態の無いよう計画的に優先順位をつけ修繕等を行い、多くの市民の方に利用いただけるよう努める。</p>		

(C表)

成果指標	施設や展示物の満足度			
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している			
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増	減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	(B) - (A)	
23.8%	25.0%	-	-	
分析・評価	平成29年度は、まちづくりアンケートを実施していないため、施設や展示物の満足度は確認できないが、事業内容の精査や利便性の向上に努めることとして、施設のトイレ洋式化改修等、利用者の満足度を高める工夫や努力を行っている。			



(A表)

施策	(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	古墳等を拠点とし遺跡を活用した事業は積極的に取り組まれ評価できるが、遺跡や考古資料を活用した展示施設の建設が求められている。重要伝統的建造物群に選定されている卯之町の町並み保存では、計画に基づいた建造物の整備は進んでいるが地区住民の機運醸成は今後の課題である。今後は遺跡や町並みなどの特色を生かし、四国西予ジオパーク構想整備と連携した取り組みを進める必要がある。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 古代ロマンの里構想の推進		
成果指標	設定あり（古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	1,679
取組事業	古代ロマンの里推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の方向性	<p>【事業内容】</p> <p>「古代ロマンの里整備活用基本計画」に基づき構想を推進する。また、愛媛県の歴史の道調査や詳細構想に基づく笠置街道の保護や周辺の文化財の把握、総合的な活用に努める。</p> <p>【実績】</p> <p>昨年刊行された笠置峠古墳発掘調査報告書の成果を受け、笠置峠古墳における葬送儀礼の復元に向けた取り組みを行った。儀礼に使用する土器づくり、衣服づくりを笠置文化保存会の協力を得て一部一般参加も含め実施。儀礼復元は、当市で開催された第4回愛媛遺跡利活用団体交流会で参加者の協力を得て行った。葬送儀礼のストーリーは、笠置峠古墳報告書の簡易版として冊子にまとめた。</p> <p>10月に予定されていた「駅からウォーク」は、台風の影響により中止となった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>笠置峠古墳の葬送儀礼の復元は、古墳の本質に基づく活用事業であり、今後も精度を高めながら実施する。八幡浜街道のウォークイベントは、年複数回開催を検討したい。</p>		

(C表)

成果指標	古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合		
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	(B) - (A)
71.8%	75.0%	-	-
分析・評価	29年度はまちづくりアンケートを実施していない為、標記事業が役に立っていると感じる市民の割合は確認できないが、埋蔵文化財を活用した事業を望む声は多く、「駅からウォーク」も好評である。更に工夫した利活用が必要である。		

重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

(A表)

施策	(1) スポーツの普及・推進
評価	概ね順調
評価に 対する 分析	<p>国民体育大会や全国大会の各種大会に出場する西予市民に対し、顕彰に努めた。近年、えひめ国体開催を見据えた動きの中で、全国大会に出場する選手が増えている。</p> <p>体育協会やスポーツ推進委員協議会との連携を図り、スポーツイベントの開催など市民の健康・体力の保持増進のほか、相互の親睦・交流を深めてスポーツに親しむ市民の増加を目指したい。</p> <p>老朽化したスポーツ施設が多くあり、適切な維持管理に努めるとともに、施設整備が課題である。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	150
取組事業	総合型スポーツクラブ補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>西予市総合型地域スポーツクラブ育成振興補助金交付要綱に基づき、総合型地域スポーツクラブ活動支援のため補助金を交付する。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>平成29年度実績は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みかめスポーツクラブ 50千円</li> <li>・のむらスポーツクラブ 50千円</li> <li>・文化の里スポーツクラブ 50千円</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>各クラブの魅力ある事業を支援し、クラブ会員の増加を目指すことが今後の課題である。また、平成27年度ですべてのクラブが t o t oスポーツ振興くじ助成期間が終了。健全で安定的なクラブ運営に向けて支援体制の構築が必要であることから、平成28年度から健康づくりを推進するための事業を委託し2年目が終了した。3年目は成果を検証し今後の活動につなげたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定なし		
担当課	野村教育課	決算額(千円)	1,446
取組事業	朝霧湖マラソン大会支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b>  毎年5月3日(祝)開催で、コースはハーフマラソンと10kmロードレース、定員は3,000名にて実施する大会。  西予市ホームページや公式facebookで、大会の魅力を情報発信している。大会スタッフは、実行委員会のほか、地元住民や中高生にボランティアを呼びかけ運営にあたっている。  全国からのランナーや観光客を受け入れており、地元住民との交流を図り、地域活性化や生きがいをづくりにも寄与している。</p> <p><b>【実績】</b>  第26回四国せいよ朝霧湖マラソンを開催し、全国から約3,000名の申し込みがあり、2,700名を超すランナーが参加した。  HPをリニューアルし、情報発信の強化を図った。またfacebookでは、いいね数は1,189件、ニュースフィードのプレビューは10,000件を超えることもある。また、マスメディアへのプレスリリースを活用した情報発信にも努めた。  今大会は愛媛新聞及び西予CATVでも報道(放映)していただき、全国ランニング大会100撰にも3年連続選出され、ランナーの中では、認知度が広まり、定員においては3,000名の締切を待たずに締め切りとなった。  地元においてもGWの風物詩として定着しており、多くの方が沿道で応援されている。今大会の支出が1,300万円超の支出があり、その内約660万円分については、西予市内の業者での支出であり、割合にして46.90%となっている。  また年間を通して試走をされる方が多くなってきており、特に3月、4月は顕著であり、延べ数百人のランナーが試走されていて、試走による経済効果が今後も見込まれる。  多くの中高生スタッフがボランティアで参加していただき、地域イベントをとおして、地域の方とのふれあいの機会が増えた。また、主体性、奉仕の心を育むことができ、次世代を担う人材を育成できる。  現在ランネットにおける評価が、ハーフマラソンの部門で全国3位、10kmでは全国1位となっている。  評価者も138名であり、昨年から大幅に増加している。コメント内容も肯定的(賛辞)な意見が多く、特に中高生ボランティアに対する賛辞が多く、満足度は高かったと思われる。運営組織は充実しており、各係では長年スタッフを担っている方が多く、自主的、計画的にスペシャリストとして責任と誇りを持って業務にあたっている。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b>  地域経済効果、参加者満足度、人材育成に貢献できている。全国的にも知名度の高い大会になってきつつあるので、今後は情報発信力を高めて、さらなる認知度を上げていき、大会の質も高めてより良い大会を目指す。</p>		

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	2,817
取組事業	全国大会出場選手支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b>          県予選等を経て全国大会へ出場する選手へ15千円、国体・国際大会へ出場する選手等へ20千円（団体競技の場合は上限300千円）の報奨金を交付する。また、高校生以下の選手には、懸垂幕も作成・掲出し市民に周知する。</p> <p><b>【実績】</b>          平成29年度実績は以下のとおりである。          ・懸垂幕39本 報奨金131人</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b>          インターハイ・国体等の全国大会への出場選手が近年増加し、懸垂幕の掲出場所の関係で連名となったり、出場選手数の予測が困難なことや事後申請となることもあるため、今後は市スポーツ協会や学校等から情報提供を得ることで解消に努めたい。特に懸垂幕の掲出場所については、本庁だけでなく、申請者の了承を得て学校・公民館・支所など可能な場所に少しでも長く掲出できるような対応を取っている。</p>		

(C表)

成果指標	市民の週1回以上のスポーツ人口率			
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	平成29年度	（B）－（A）	
26.0%	50.0%	-	-	
分析・評価	<p>平成29年度は、まちづくりアンケートを実施していないため、市民の週1回以上のスポーツ人口率は確認できていない。</p> <p>旧各町単位で総合型スポーツクラブの設立を目標にし、スポーツ人口の増加を目指していたが、キーパーソンとなる人物が体協と重複し、現状としては困難であるが成果指標は概ね6割達成している。</p> <p>今後は、今以上の体育協会やスポーツ推進委員協議会の連携によりスポーツに親しむ市民の増加を目指したい。</p>			

## V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性

### 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

#### (1) 確かな学力の育成

##### 【学識経験者の意見】

(確かな学力の育成 (施策))

学力学習状況調査について全国平均を上回ったことは評価できるが、県平均や全国平均との比較だけを追い求めているといろいろな問題が出てくる可能性がある。子どもたちの学習意欲、学習姿勢にしっかりと重点を置いた教育を行ってほしい。そのことにより生きる力は備わってくるのではないかと思う。

(生徒国際交流事業)

生徒国際交流について、ニュージーランドへ行っているが、行先としてニュージーランドが長いように感じる。交流があって、受け入れ態勢が整っているということはあるが、英語圏で治安がいい、もう少し近い場所を選定すれば、費用負担が抑制され、参加人数を増やすことができるのではないか。

#### 《今後の取組の方向性》

(確かな学力の育成 (施策))

学習意欲等を高めることについて重点的に取り組んでいきたい。

(生徒国際交流事業)

派遣生徒数は、平成29年度は13人であったが、30年度は増員予定である。近年は世界各地でテロが発生しており、オセアニア方面への渡航需要が増加し、渡航費が高騰している。このような現状を踏まえ行先については慎重に検討していきたい。

#### (3) 健やかな体の育成

##### 【学識経験者の意見】

(せいよ西学校給食センター運営事業・三瓶学校給食センター運営事業)

学校給食について、地産地消に取り組むということはよく聞くが、旬の時期にその食材ばかりを使うことはできなく、献立によって地元食材を仕入れる難しさはあると思う。給食運営委員会は、学校長やPTAに対して給食センター側からの報告という形になっているような気がする。運営委員会で、産直市の関係者や認定農業者等の方々と協議するようなことがあるのか。緊密に連携を行う必要があると思っている。

#### 《今後の取組の方向性》

(せいよ西学校給食センター運営事業・三瓶学校給食センター運営事業)

第2次西予市食育推進計画は、地産地消率を18.0%に設定している。平成29年度は、せいよ西学校給食センターは24.5%でクリアしているが、三瓶学校給食センターは9.0%と低くなっている。地産の概念として、例えば魚は、三瓶沖で水揚げされても魚市場のある八幡浜産として扱われて地場物として扱えない。また、三瓶では野菜を生産している農家が少ない。宇和から野菜を運搬することも考えられるが、給食センターへ午前8時には納

入しなければならないこともあって、運搬が難しく、結果的に三瓶は達成できていない。  
地産地消の取組みとして、中川小学校で米農家と豆道楽の方に来ていただき、生産者の顔が見えるような交流を通して食の安全性を確認したり、地場産物や地域の食文化を学んだりしたが、これらは食育の推進にも効果的であったため今後も継続していきたい。

#### (5) 特別支援教育の充実

##### 【学識経験者の意見】

(小学校・中学校生活支援員設置事業)

特別支援学級への生活支援員の要望が毎年出てきているようだが、少しでも要望に応えられるようにしていただきたい。

##### 《今後の取組の方向性》

(小学校・中学校生活支援員設置事業)

教育総務課回答

生活支援員の配置については、配置希望を教育支援委員会において協議検討し決定しているが、財政面も考慮し学校現場や保護者のニーズに対応していきたい。

#### (7) 安全・安心な学校づくりの推進

##### 【学識経験者の意見】

(学校や地域の安全確保の推進)

宇和中学校の学校評価委員会の中で、不審者等の心配もあるが、平成29年度は自転車による交通事故が多く心配しているという意見があった。特に心配しているのが、鬼窪から中学校までの商店街を含む狭い道路が非常に危険ということであった。警察に巡回をお願いはしているが常時巡回することもできず、有効な手段を打ち出せていない。朝夕の登下校時は近道として車の交通量が多く、なおかつスピードを出している車が多い。対策として、青パトに協力を求めるなど教育委員会として、対策を考えていただくとありがたい。

##### 《今後の取組の方向性》

(学校や地域の安全確保の推進)

警察に巡回をお願いはしているが常時巡回することができず、有効な手段を打ち出せていないのが現状である。青パトやPTAの協力を得ながら、定期的な巡回や定点での安全指導などを通して、地道に安全確保に努めていきたい。

## 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

### (2) 公民館活動の推進

##### 【学識経験者の意見】

(社会教育団体育成事業)

社会教育団体と緊密に連携をとることによって団体育成にもつながるので、今後も団体活動をバックアップしていただきたい。

##### 《今後の取組の方向性》

(社会教育団体育成事業)

社会教育団体との連携及び活動支援に努め、更なる生涯学習の取り組みや地域活動の活性化につなげていきたい。

#### (4) 人権・同和教育の推進

##### 【学識経験者の意見】

(人権のつどい事業)

人権の集いを市内3か所で実施されているが、全市に周知して、すべてに参加されたい方のために開催日をずらして開催してはどうか。

##### 《今後の取組の方向性》

(人権のつどい事業)

西予支部で調整の上、各会場の開催日が重ならないよう配慮したい。新聞折込み等で広く周知しているが、更なる情報発信を検討していきたい。

### 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

#### (1) 文化財の保護と活用

##### 【学識経験者の意見】

(文楽保存伝承活動事業)

文化財の継承と次世代を担う人材育成について、文楽等で人材育成を行っていると思うが、子どもたちが西予市に残ってもらえれば人材育成につながるがなかなか難しいと思っている。実際活動している方は高齢の方が多く、その後を引き継ぐ中間層に対して自分たちの文化財を守っていくという意識を高めるための手段を講じていかないと、後継者が不足して公演もできなく、更には後継者が1人もいなくなり途絶えるという事態が起きてくることになる。文化財があることは知っていても自分たちで守るということまでに意識は行ってないという心配がある。

##### 《今後の取組の方向性》

(文楽保存伝承活動事業)

文楽保存伝承活動の後継者育成へ向けては、手段を講じていかなければいけないと受け止めている。今後は、西予市出身である人間国宝の吉田和生先生と連携し、若い世代との文楽交流会や市民を対象とした文楽の魅力伝える講演等を開催するなど、後継者育成へつなげていきたいと考えている。

#### (3) 文化活動の環境と基盤の整備

##### 【学識経験者の意見】

(三瓶文化会館管理運営事業)

三瓶文化会館の管理運営について、宇和文化会館が管理運営の委託を受けて行っているが、管理運営費4,700万円が投入されて、イベントをどれくらい行っているのか。三瓶文化会館、朝日文楽会館、宇和には宇和文化会館と大規模な文化的施設が近隣に3か所あり、利用価値がどの程度あるのか、また将来的にどのように有効活用していくのか等を含めて、3つの文化的施設の在り方を考えていく必要がある。4,700万円あれば、生活困窮者の奨学

金の返済を半額免除するなどしたほうが、公費を有効に活用できるのではないか。

#### 《今後の取組の方向性》

(三瓶文化会館管理運営事業)

29年度の三瓶文化会館自主事業については、演歌歌謡ショーと夏井いつき句会ライブの2事業を開催し、入場者は約850名であるが、文化団体等の施設利用者を含めると約27,150名となる。宇和文化会館(H3年開館)も三瓶文化会館(H2年開館)も施設設備は老朽化し、年々改修が必要になっている現状であり、市の財政状況を踏まえ、基金活用を含め今後計画的な改修を図りたい。また、3つの文化的施設の在り方、その有効活用についても検討していきたい。

## 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

### (1) スポーツの普及・推進

#### 【学識経験者の意見】

(総合型スポーツクラブへ補助事業)

総合型スポーツクラブは、市町村合併が進んでスポーツまで自治体が補助することはできないため、自らで運営するという本質になっている。自分たちで参加費を集めて運営していくというのは、商業スポーツが充実している都会的発想で過疎地域では難しいところがあるのではないか。

#### 《今後の取組の方向性》

(総合型スポーツクラブへ補助事業)

現在、市には三瓶・宇和・野村の3つのスポーツクラブがある。市民が日常的にスポーツに楽しみ、スポーツ活動に参画する機会の提供を通じ、市民の健康増進や体力向上に貢献しているスポーツクラブであるが、平成28年度からは全スポーツクラブ一律5万円の補助となっている。今後も、自治体の補助により活動するというスタンスではなく、スポーツを自らが楽しみ健康増進につなげ、また、スポーツを通して地域の人達の交流促進へつながるという視点でご理解いただきながら当事業を進めていきたいと考えている。